



アユ情報

第6号

平成27年5月11日
栃木県水産試験場

1. アユ^そ遡上情報

アユの遡上状況についてお知らせします。

那珂川の状況 (5/8 現在)



- ・茂木地区で、先週に引き続き遡上を確認しました。河川状況は、かなりの渇水です (5/7)。



大瀬観光ヤナ付近 (5/7)

- ・那珂川町の三川又堰で61尾の天然アユを採捕しました。平均全長は98.1mmでした (5/7)。
- ・大田原市の永昌橋付近で、約10mの带状で遡上する群れを確認しました (5/8)。



三川又堰 (5/7)



採捕された天然アユ (三川又堰)

<茂木地区での定期調査結果>

平成27年				平成26年			
日付	水温	*採捕尾数	平均全長(mm)	日付	水温	*採捕尾数	平均全長(mm)
				4月3日	12.0	6.7	87.7
				4月9日	11.0	2.0	92.0
				4月16日	15.0	39.7	95.0
4月22日	15.2	6.2	78.5	4月22日	12.1	108.0	93.6
4月28日	19.7	0.5	78.5	4月30日	14.1	38.0	97.2
5月7日	19.0	3.3	98.1	5月7日	14.0	44.6	97.2

*投網 1 人 1 時間あたりに換算した採捕尾数

近県の状況 (5/8 現在)

- ・茨城県内の那珂川、久慈川では、順調な遡上が確認されています (5/7)。

茨城県水産試験場内水面支場

H27 年久慈川・那珂川アユ遡上速報第 10 号

- ・多摩川のガス橋付近では、遡上が続いているようです。

→5 月 8 日までの累計入網数：111, 857 尾 (H26 年同時期：134, 253 尾)

東京都島しょ農林総合研究センター 平成 27 年アユ遡上調査

- ・荒川の秋ヶ瀬取水堰でも遡上が続いています、遡上のピークはまだのようです。

→5 月 8 日までの累計遡上数：108, 965 尾 (H26 年同時期：358, 162 尾)

利根導水総合事業所：平成 27 年度の秋ヶ瀬取水堰稚アユ遡上状況

~~~~~  
豆知識～湖産種苗 vs 海産種苗～  
~~~~~

琵琶湖産アユは、海産アユよりも適水温が約 2℃低いとされており、まだ水温が低い解禁直後は湖産系の種苗のほうが海産系の種苗よりも良く釣れると考えられています。しかし、岐阜県の付知川で調べられた例では、海産系種苗を湖産系種苗よりも約 2 週間早く放流したところ、試し釣り (水温 13.6℃) で釣れたアユの約 77%が海産系種苗と推定されました。

友釣りでは、大きなアユから釣られる傾向が知られています。これは、サイズの大きいアユほどナワバリ争いに勝ちやすいためです。付知川では、海産系種苗のほうがより大きく成長していたために、湖産系種苗より良く釣れたと考えられます。また、早期放流の場合、河川で成長する期間が長くなるので放流サイズを小型化することができます。つまり、放流金額あたりの放流尾数を増加させることができます。

連絡先 栃木県水産試験場

電話 0287-98-2888 FAX 0287-98-2885

ホームページアドレス <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g65/index.html>